



公益社団法人

全日本病院協会

公益社団法人 全日本病院協会

総合医育成事業

●全日本病院協会総合医育成事業とは

全日本病院協会 総合医育成事業は、(公社)全日本病院協会が(一社)日本プライマリ・ケア連合学会及び筑波大学との協力のもと提供する、総合医の育成プログラムです。

高齢患者が著増する中で、臓器別にとられない幅広い診療、多様なアクセスを担保する診療、そして、多職種からなるチーム医療のマネジメントが求められます。2018年度から導入される総合診療専門医制度は、そうした求めに応じる医師像を掲げていますが、病院現場にいきわたるにはまだ時間を要する状況です。

当協会では、こうした医療ニーズの変化に対応し、新たなキャリア形成を指向する医師を支援するためのプログラムとして、本事業を策定いたしました。

●プログラムの目的

- ①一定のキャリアを持つ医師が、個々の専門性や経験を生かしつつ、さらに診療の幅を広げる。
- ②総合診療専門医のもつコンピテンシーを理解・共有し、職場において専門医との協働による相乗効果への期待。
- ③病院内外の医師や関連施設および関係する多職種との連携をスムーズに行う医師の育成。
- ④地域包括ケアにおける複雑な課題への対応能力を高め、住民からの信頼を得る医師の育成。
- ⑤総合的・俯瞰的に病院機能の改善をはかることができ、かつ病院組織の運営に積極的に関与できる人材としての医師の育成。

※お申込みは全日病 HP (<https://www.ajha.or.jp/hms/sougoui/>) よりご案内をご確認ください。

<お問い合わせ先>

公益社団法人全日本病院協会 全日病総合医育成プログラム担当 長戸・向井

〒101-8378 東京都千代田区神田猿樂町 2-8-8 住友不動産猿樂町ビル 7 階

TEL 03-5283-7441 FAX 03-5283-7444

MAIL sougoui@ajha.or.jp ホームページ <http://www.ajha.or.jp/>

平成30年度 全日本病院協会 総合医育成プログラム 参加のお勧め (全日本病院協会認定総合医)

公益社団法人 全日本病院協会

会 長 猪 口 雄 二



日頃より当協会の活動にご協力ご支援をいただき、誠に有難うございます。

さて、全日本病院協会は、国民に安全で質の高い医療を医療人が誇りと達成感を持って提供できるような環境整備を行う事を目的に活動しております。一方で、社会構造の変化と医療の持続可能性への不透明感等、病院を取り巻く環境は激変しており、地域に密着した診療活動の中で実体験として、こうした環境の変化への強い危機感を抱いております。

昨年には医師偏在に伴う地域医療への影響の懸念から開始が遅れていた新専門医制度がスタートし、7月には「総合診療専門医」が新たな専門領域として承認されました。多領域に跨って診療を行う総合診療専門医の育成は、認知症や多疾病を抱えて生きる高齢患者が増加している医療機関にとって必要不可欠なものと考えます。しかし、昨年からの育成の始まった同専門医が広く地域の医療機関に根差して活躍するまでには、まだまだ時間を要するところです。

こうした状況下において、すでに多くの医療機関で、専門性を有した医師がその専門領域以外の場面で活躍する機会が増加していることと存じます。そこで、当協会ではそうした医師の更なるキャリアアップの一助とすると同時に、総合診療専門医のもつコンピテンシーを理解・共有し、職場において専門医と協働できる環境の醸成を主な目的とし、本プログラムを作成いたしました。

本プログラムは、診療の場面で一歩踏み出す能力を身につけることを目標とした「診療実践コース」に加え、他診療科や多職種との連携に必要なリーダーシップやチームビルディング、人材育成について学ぶ「ノンテクニカルスキルコース」、日本の医療制度、医療をめぐる現状や未来について全体像を俯瞰する能力を身につけるための「医療運営コース」の3分野から成るスクーリングを主とし、総合診療e-learningによってより広範な知識を身につけていただくとともに、学習の中で得た知識をご自身の医療機関で実践いただくまでを全体の構成としています。

本研修では反転授業の手法を用い、事前にスクーリングのテーマについての学習を深めていただいたうえで、参加者によるグループワークにより実践的な知識を深めていただきます。また、スクーリングについては特に自身にとって必要な分野についての学習を深めていただくため単位制の形をとり、所定の単位を取得された後、自院での診療実践状況等についてまとめたレポートをご提出いただき、全日本病院協会総合医審査委員会が認定した医師を「全日本病院協会認定総合医」として認定いたします。

各病院におかれましては、すでに総合医の育成・強化のために種々ご配慮をなされてきておられると思いますが、現下の厳しい病院経営環境の中、健全な病院経営・管理の維持・向上のために、皆様からの積極的なご参加をお待ち申し上げます。



公益社団法人 全日本病院協会

●対象と受講要件

対象者

- ・おおむね医師経験6年目以上で、プログラムでの研修を希望する全ての診療科の医師。（年齢は問わない）

研修期間

- ・2年間で推奨するが、個々の職場や個人の状況を考え、1年から5年間での修了を求めるものとする。7月～翌年6月までを年度として進める。

受講料

- ・会員 40万円（税込432,000円） 会員外 50万円（税込540,000円）

定員

- ・40名（2年目から50名を予定）

時期

- ・募集期間：2018年3月1日～5月31日 研修開始：2018年7月14日（土）

➡ お申込みは **全日病 HP** (<http://www.ajha.or.jp/>) よりご案内をご確認ください。

●構成

① 自院における診療実践

- ・自施設で診療・実践を行うことを原則とする。
- ・診療以外の実践・活動：教育履歴、地域保健福祉活動、研究履歴なども評価対象とする。

② eラーニング

- ・プライマリ・ケアの実践に役立つレクチャーをe-learningシステムにオンデマンドで配信する。

③ スクーリング（予定）

- ・1日のスクーリング（集合研修）を1単位として、「**診療実践コース**」22単位、「**ノンテクニカルスキルコース**」10単位、「**医療運営コース**」2単位の全3コース34単位から構成される。
- ・「プライマリ・ケアの現場で一歩踏み出せること」を目標とした体験型ワークショップで、現場での実践力を身につけることを目的とする。
- ・研修者は、それぞれのコースにおいて所定の単位数を受講することを認定の条件とする。

診療実践コース （全22単位）

※2018年7月～2020年6月
の2年間で全22単位を実施
予定

- ▶プライマリ・ケア・セッティングにおいて日常よく遭遇する疾患・病態に対して、適切な初期対応とマネジメントができる能力を修得する。
※高度な専門知識や高度な技術の修得が目標ではない
- ▶診療場面を意識した到達目標を明示し、自らのバックグラウンドや診療能力と照らし合わせて必要なコースを選択してご受講下さい。

総論（予定）

- ①臨床推論 /EBM
- ②病歴聴取（コミュニケーション技法含む）/身体診察
- ③T&A（triage&action）コース（成人、小児）
- ④生活習慣指導（行動変容含む）
- ⑤地域包括ケア実践
- ⑥リハビリテーション

各論（予定）

- | | |
|---------|---------|
| ①循環器 | ⑨小児科（1） |
| ②呼吸器 | ⑩小児科（2） |
| ③消化器 | ⑪整形外科 |
| ④代謝内分泌 | ⑫産婦人科 |
| ⑤腎・泌尿器 | ⑬眼科・耳鼻科 |
| ⑥神経 | ⑭皮膚科 |
| ⑦血液・膠原病 | ⑮精神科 |
| ⑧感染症 | ⑯認知症 |

ノンテクニカル スキルコース （全10単位）

※2018年7月～2019年6月
の1年間で全10単位実施

- ▶地域で活躍する総合医には、医学的知識・技術（テクニカルスキル）だけでなく、組織人としての技術（ノンテクニカルスキル）が求められる。
- ▶本プログラムでは、地域包括ケアシステムのリーダーを養成するという考え方に基づき「リーダーシップ」「チームビルディング」「人材育成」などのスキルを修得する。

実施内容

- | | |
|------------------------|---------------------------------------|
| ①MBTI（性格タイプ別コミュニケーション） | ⑥ミーティングファシリテーション |
| ②コンフリクトマネジメント | ⑦問題解決（1） |
| ③コーチング+人材育成 | ⑧問題解決（2） |
| ④教育技法 | ⑨TEAMS-BI（仕事の教え方） |
| ⑤リーダーシップ・チームビルディング | ⑩TEAMS-BP（業務の改善の仕方）+ TEAMS-BR（人への接し方） |

医療運営コース （全2単位）

※2018.7.14(土)・15(日)
必修

- ▶地域で活躍する総合医に求められる、医療システム全体を俯瞰する能力を修得する。日本の医療・介護制度の理解、医療をめぐる現状や将来像、地域社会における自施設の位置づけに関する理解などについて学ぶ。

実施内容

- ①日本の医療の将来像
 - ②医療制度・診療報酬の理解
- などをテーマに実施

※H30 年度開講式と同土日に開催。必修単位となります。

●認定要件について

①スクーリングを所定の回数以上の履修。

診療実践コース **12単位以上**
 ノンテクニカルスキルコース **6単位以上**
 医療運営コース **2単位**
合計20単位以上

※AHA ACLS プロバイダーコース（日本内科学会内科救急・ICLS 講習会（JMECC）もこれに準じる）および厚労省の定めるプログラムに基づく緩和ケア研修会の参加はそれぞれ「診療実践コース」1単位参加とみなす。

…有効期限内のみ。認定申請時に研修参加を証明する書類のコピーを添付の上ご送付ください。

②e-learning を4回以上視聴していること。

③総合的な診療を実践していること。（修了レポートとして提出）

認定に際しましては上記の要件を満たしたうえで、ご自身で下記の手順にて認定申請を行ってください。

●認定に際しましては、以下の書類を事務局まで郵送にてご提出ください。

- ①認定申請書（※1）
 - ②修了レポート（※2）
（総合的実践の記録、e-learning 受講歴の記載含む）
 - ③カリキュラム達成記録
 - ④AHA ACLS プロバイダーコース及び緩和ケア研修会等の参加証明（必要な方のみ）
 - ⑤病院長・理事長による研修証明（※2）
- ※1 認定申請書は別途HPに掲載いたします。
 ※2 レポート及び研修証明につきましては書式は自由。ホームページに書式例を掲載いたしますのでご参考下さい。

1. 認定申請書類の提出

全日病による審査
 ※通常審査に1~2か月程度かかります

2. 認定証の交付

●2018年度日程について

スクーリング日程	会場
2018年 7月14日（土）	全日病会議室
2018年 7月15日（日）	
2018年 8月25日（土）	一橋講堂
2018年 8月26日（日）	
2018年 9月29日（土）	全日病会議室
2018年 9月30日（日）	
2018年10月13日（土）	一橋講堂
2018年10月14日（日）	
2018年11月 3日（土）	全日病会議室
2018年11月 4日（日）	
2018年12月23日（日）	一橋講堂
2019年 1月12日（土）	
2019年 1月13日（日）	一橋講堂
2019年 2月 2日（土）	
2019年 2月 3日（日）	一橋講堂
2019年 3月16日（土）	
2019年 3月17日（日）	全日病会議室
2019年 4月 6日（土）	
2019年 4月 7日（日）	一橋講堂
2019年 5月25日（土）	
2019年 5月26日（日）	一橋講堂
2019年 6月15日（土）	
2019年 6月16日（日）	一橋講堂

●下記の内容で開講式及び医療運営コースのスクーリングを行います。2018年度より受講の方は、**参加必須**となりますのでご注意ください。

- ①開講式：2018年7月14日（土）
12:00～13:00
- ②医療運営（1）：2018年7月14日（土）
13:00～19:00
- ③医療運営（2）：2018年7月15日（日）
9:00～16:00

●年間23日（23単位）開催
 診療実践 11単位
 （2年間で22単位）
 ノンテク 10単位
 医療運営 2単位

●いずれも土日開催
 土曜 13:00～19:00
 日曜 9:00～16:00
 （昼食休憩1時間含む）

●研修会場について

2018年度のスクーリングは原則、全日本病院協会大会議室（千代田区神田猿樂町）または一橋講堂（千代田区一ツ橋）にて開催予定です。

【全日本病院協会 大会議室】
 〒101-8378
 東京都千代田区
 神田猿樂町 2-8-8
 住友不動産猿樂町ビル 7F



【一橋大学一橋講堂】
 〒101-8439
 東京都千代田区
 一ツ橋 2-1-2
 学術総合センター内



<お問い合わせ先> 公益社団法人全日本病院協会 全日病総合医育成プログラム担当 長戸・向井
 〒101-8378 東京都千代田区神田猿樂町 2-8-8 住友不動産猿樂町ビル 7階 TEL 03-5283-7441 FAX 03-5283-7444
 MAIL sougoui@ajha.or.jp ホームページ <http://www.ajha.or.jp/hms/sougoui/>